

# 志望大学に合格する生徒の共通点

## ～浦和第一女子高等学校の先生方から～

校長 田邊 泰

先日、埼玉県立浦和第一女子高等学校（以下「一女」とさせていただきます）の「学校評議員会・学校評価懇話会」に委員として参加しました。そこで、興味深いお話を聞いたので、皆さんに御紹介いたします。

ここ数年「一女」では、難関国立10大学+国公立医学科の現役合格者数が増え続けるなど、着実に進学実績を上げてきたそうです。そんな中、多くの生徒を見守り続けてきた「一女」の先生方が、志望大学に合格する生徒の共通点に気が付いたそうです。

それは

- ◇レジリエンス（「折れない心」を持つこと、困難な状況であるにもかかわらず、うまく適応する過程や能力）が高く、生活のリズムが安定している。
  - ◇授業を核に据えた学習習慣が身についている。
  - ◇すべての授業を大切にし、つなげて考える力を持っている。
  - ◇弱点も欠点も自分の一部として受け入れられる。
  - ◇部活動や行事等に積極的に取り組み、自分にも人にも一生懸命になる経験や、何かをやり遂げる経験を積んでいる。
- 等だそうです。

岸中の皆さんは、これを読んで、どのように感じましたか？

私は、授業を核に据えた学習習慣（予習・復習）や横断的な学習（岸中でいえば「究めタイム」）に取り組む姿勢の大切さと「非認知能力」の重要性について、改めて実感させられました。

つまり「志望校に合格する生徒の共通点」とは、日々の学校生活のすべての活動（授業、学級の活動、各行事、部活動、生徒会活動…）を全力で取り組む、ということなのではないでしょうか。

岸中の生徒の皆さんには、是非ともこのことを参考にして、これからの岸中学校での生活を送ってほしいと思います。

